

2024年10月21日



公式キャラクター
はまなか あい

プレスリリース



「ふくぎん SDGs 宣言書策定支援サービス」による 「SDGs 宣言書」策定支援 ～ 株式会社牛屋様 ～

株式会社福島銀行（取締役社長 ^{かとう たかひろ}加藤 容啓）は、お客さまの SDGs（Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標）への取組みを支援するため、「ふくぎん SDGs 宣言書策定支援サービス」を取扱いしております。

この度、本サービスを通じて、株式会社牛屋様が SDGs 宣言書を策定されましたので、お知らせいたします。

今後とも当行は、お客さまの SDGs に係る取組みを支援し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

会社概要

会社名	株式会社牛屋
代表者	代表取締役 吉田 健
本社所在地	福島県双葉郡葛尾村上野川仲迫 27-11
主業種	黒毛和種生産、羊肉生産、食肉加工販売
企業の特徴	当社は、東日本大震災後、葛尾村で再スタートした畜産業者です。苦境を乗り越え現在、黒毛和牛肉の生産はもとより、牛の肥育技術を応用した羊の肥育で国産羊肉（メルティーシーブ）の流通市場を創造しています。独自の「再利用戻し堆肥」方法により、環境に優しい肥料づくりに取り組んでおります。

以上



福島銀行は持続可能な開発目標（SDGs）
を支援しています

本件に関するお問合せ先
営業支援部法人支援課 024-525-2941

報道機関のお問い合わせ先
総合企画部 経営企画課 広報室 金成 TEL 024-525-2973

SDGs宣言

株式会社 牛屋

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標 (SDGs) に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

経営方針 | 牛、羊、ヤギづくり、人づくり、販売先の輪を広げていく。

目指す姿 | 牛、羊、ヤギの頭数を増加させ、食肉や羊毛の生産規模拡大と葛尾村の特産化を目指す。

安心・安全な食肉の提供

独自の配合肥料を用い肥料整備と健康管理を徹底する事で肉質の向上を図り、お客様に安心して安全な食肉をお届けします。

具体的な取り組み

- 最新給仕法を用いての省力化の徹底
- 牛、羊、ヤギの健康管理の徹底



省エネ・節電

CO2排出抑制のため、さらなる省エネ・節電を推進します。

具体的な取り組み

- 照明のこまめな消灯や待機電力の節約
- LED化の推進
- 再生可能エネルギーの導入・利用推進
- 工程改善等ロス削減による省エネ推進



地域社会への貢献

雇用を通じた地域振興のため、地元人材の活用を推進します。

具体的な取り組み

- U・Iターン人材採用に向けた行政との連携
- 地域教育機関からのインターンシップの受け入れ
- 地元コミュニティとの交流会
- 雇用マッチングイベントへの参加



ESG/SDGsの取り組みの表明

会社としてSDGsに取り組むことを決め、その社会的な意義や自社にとっての目的を従業員に伝え、社会へ貢献します。

具体的な取り組み

- SDGsを取り入れた経営方針・経営計画の表明
- 行政のSDGs登録制度への参画
- SDGs推進施策・目標の設定、モニタリングの実施
- SDGsの取り組みのホームページでの情報開示

